

組織名	一般財団法人飛騨高山大学連携センター
-----	--------------------

## 1 組織概要

所在地	岐阜県高山市千島町900番地1
TEL	0577-57-5366
FAX	0577-57-5377
URL	https://www.renkei-center.jp/
e-mail	hidatakayama@renkei-center.jp
設立	2017年6月29日
設置都市等	高山市
代表者	國島 芳明(理事長/市長)

## 2 組織動向

### (1) 沿革

設置経緯	<p>○2015年10月策定の「高山市まち・ひと・しごと総合戦略」で掲げられている「大学連携の推進」を実現するため、その在り方についての検討を開始した。</p> <p>○2017年3月に、市が連携協定を締結している大学等から意見を聴取した。</p> <p>○2017年4月に、大学連携担当監を配置し、6月に一般財団法人として設立した。</p>
見直しの動向	
役割(2017年時点)	高山市における大学の高度な知見を活用した自治体シンクタンク事業、大学などの様々な活動を誘致・支援する大学ミッション事業を専門的に実施することにより、地方創生を担う人材の育成、若者のUIJターンや地元定着を促進する。

### (2) 組織体制

設置形態(択一)	<input type="checkbox"/> 自治体の内部組織 <input type="checkbox"/> 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) <input checked="" type="checkbox"/> 公益法人(財団法人・社団法人) <input type="checkbox"/> 大学の附置機関 <input type="checkbox"/> 広域連合 <input type="checkbox"/> その他
常勤職員数	3人
うち常勤研究員数	2人
非常勤研究員数	1人
専門性確保に関する特徴(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 専門的な知識を有した研究員の採用 <input type="checkbox"/> 外部有識者の活用(研究員として採用した者を除く) <input checked="" type="checkbox"/> 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の企画部署と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の関係部署と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 特に行っていない
庶務体制	常勤職員及び庶務専従者(非常勤職員)が対応
市民参加、外部連携	調査研究ごとに専門的な知見を持つ大学と連携して実施

### (3) 会計

会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2017年度予算	7,744千円	
2016年度決算	千円	
2015年度決算	千円	
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	調査委託料
	2位	
	3位	
	4位	
自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
	2位	
	3位	
	4位	

組織名	一般財団法人飛騨高山大学連携センター
-----	--------------------

### 3 活動動向

(1) 活動実績		
調査研究名	調査研究の概要 (研究成果を閲覧できる機関(国会図書館等)やURLがある場合は末尾に記入)	
2017年度に実施した調査研究	下町のまちのデザインに関する調査研究	<p>高山市は、国際観光都市として、年間460万人を超える観光客入込者数を有しているが、中心市街地の状況を見ると、上三之町界隈に観光客は集中しており、下町や江名子川沿いなどへ周遊する観光客は限られ、顕著な偏在傾向を呈している。また、ドーナツ化の都市構造により、中心部は人口減少、高齢化が進展し、コミュニティ活動や伝統文化の継承などに支障が生じている。</p> <p>そこで、「回遊性のあるまちづくり(古い町並界隈から下町界隈への回遊性の確保)」「若者などが集う賑わいのあるまちづくり(若者に魅力あるまちづくり)」について、空き家・空き店舗などを活用した中心市街地の活性化とともに、後世に残すべき古い町並にふさわしい景観としての下町のあり方(まちのデザイン)を示すことを目的に調査を実施した。</p>
	久々野地域の魅力発見・創出とグローバルビジネスの検討に関する調査研究	<p>高山市は、年間450万人を超える観光入込客数を有する国際観光都市として全国的な知名度を有しているとともに、飛騨牛を初めとした農畜産物や地酒などの加工品、飛騨家具を筆頭とする木工製品などの飛騨高山ブランドに対するファンも多くなっている。</p> <p>しかし、人口減少・少子高齢化の進行は著しく、特に支所地域においては、その傾向が顕著となっており、地域活動やコミュニティの衰退が懸念されている。</p> <p>このような状況の中、久々野地域においては、久々野地域のまちづくり活動の主軸となる「久々野まちづくり運営委員会」が全町民(町内会)と協働で地域の資源・魅力の再発見とその活用方法の構築に取り組んでいる。</p> <p>そこで、多摩大学との共同により、「第三者の目からみた地域資源の検討(若者による新たな資源の発掘や地域住民が抽出した資源・魅力の評価)」、「地域資源を活用したグローバルビジネスの提案」に向けた実践研究を実施した。</p>
	高山中心市街地のバリアに関する調査研究	<p>高山市は、急増するインバウンドの影響などにより観光客入込数が460万人を突破する一方、少子高齢化の進行により、市内における高齢化率は30%を超えている。</p> <p>こうした社会情勢の変化を踏まえ、改めて外部の視点から中心市街地等におけるバリア等を明らかにし、ユニバーサルデザインについて考えるための調査を実施した。</p>
	高山市におけるホテル・旅館業の人材確保にかかる調査研究	<p>高山市では観光客が増加する一方、ホテル・旅館における人手不足が深刻化しており、良質なサービスを提供することが困難となっている。これにより宿泊客の顧客満足度が低下し、将来的な観光産業の発展を阻害する恐れがある。高山市内の旅館では人手不足により一泊二食の対応ができなくなり、素泊まり及び一泊朝食の宿泊客しか受け入れられない旅館が出てきている。</p> <p>また、高山市の宿泊事業所数は年々減少しており、多くの宿泊事業所が人手不足の問題を抱えているが、事業所数が減少しても従業員の転職先として他の宿泊事業所で再就職するまでに至っていない。</p> <p>そのため、今後の人材確保に必要な条件を明らかにするため、大学、短期大学の観光関連学部在籍している大学生及び大学院生に対し、観光産業への就業意識調査アンケートを実施した。</p>

組織名	一般財団法人飛騨高山大学連携センター
-----	--------------------

### 3 活動動向

#### (1) 活動実績

	調査研究名	調査研究の概要 (研究成果を閲覧できる機関(国会図書館等)やURLがある場合は末尾に記入)
2017年度に実施した調査研究	高根地域及び同地域の宿泊施設の活性化に関する調査研究	<p>高山市は、急増するインバウンドの影響などにより、観光客入込数が460万人を突破する一方、その宿泊先は高山地域と上宝地域が90%以上を占めており、他地域における宿泊客数の増加が課題となっている。</p> <p>そこで、高山市が所有する宿泊施設「七峰館」において観光学部系の大学生を受け入れ、若者等にとって宿泊したくなる宿泊施設となるには何が必要かを調査するとともに、誘客による高根地域の活性化を図るために調査を行った。</p>
	景観まちづくり刷新事業に関する調査研究	<p>高山市では、優れた歴史資源を活用した施設整備や、無電柱化をはじめとした歩行空間の整備、住民との協働に良好な景観形成などの取り組みにより、年間450万人以上もの観光客が訪れる国内有数の観光地となっている。また、外国人観光客も年々急増しており、平成28年の外国人観光客の宿泊者数は約46万人となった。</p> <p>高山駅から古い町並まで伸びる“駅前中央通り”は、多数の観光客などが利用する重要な観光動線であり、また宮川沿岸は、中橋や柳橋など高山市の重要な観光スポットとなっているが、どちらも建造物や看板、またその形態、色彩など景観を阻害する要因が多々見受けられる。</p> <p>そこで、良好な景観整備(修景)を進める際の基礎となる「景観阻害要素」「良好な景観要素(残すべき景観要素・修景の模範となる景観要素)」の抽出を行うとともに、その結果を市が行う景観まちづくりの取り組みに反映させることを目的に本調査を実施した。</p>
定期刊行物		

#### (2) 活動のマネジメント状況

ア テーマ決定 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市からの要請 <input type="checkbox"/> 外部有識者等からの助言・示唆 <input type="checkbox"/> 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 <input checked="" type="checkbox"/> 貴団体・組織で自ら発案 <input type="checkbox"/> その他
イ 情報発信 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の関係部署に、報告や提言を行う <input type="checkbox"/> 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する <input checked="" type="checkbox"/> 報告会を実施する <input checked="" type="checkbox"/> 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニュースレター等で周知する <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 特に行ってない
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市の行政評価制度により評価を受けている <input type="checkbox"/> 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている <input type="checkbox"/> 外部有識者から評価を受けている <input type="checkbox"/> 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 特にそういう機会はない

組織名	一般財団法人飛騨高山大学連携センター
-----	--------------------

#### 4 特記事項

研究員の業務分担	テーマごとに業務を分担している。
研究員の専門性育成の手立て	○大学の教授等と研究を行うことにより、研究内容に関する基礎情報の把握、調査研究のノウハウなどの習得、政策形成能力の向上を図る。
研究員のキャリアパス等	常勤研究員 i)子育て支援課→企画課→当センター ii)協働推進課→企画課→当センター 非常勤研究員 市内の金融機関より週2日の研修派遣を受入れ
その他	